

要介護認定新規申請者の状況

※平成30年度：平成30年4月1日～平成31年3月31日決定分、平成31年度：平成31年4月1日～令和元年12月6日決定分

1. 年齢からみた状況

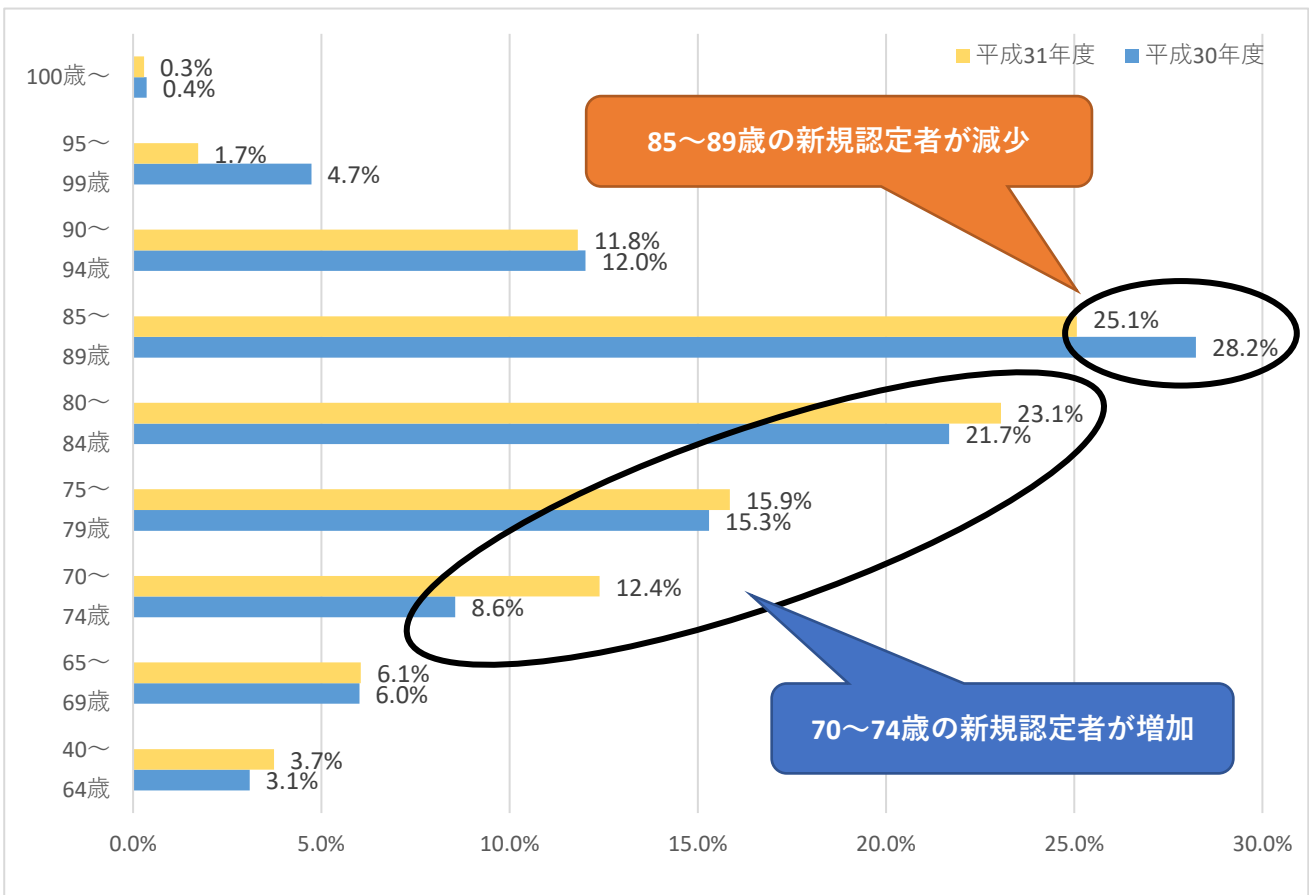
平成30年度に比べて平成31年度は、新規申請時の平均年齢が下がっている。年齢別にみると、年齢の高い人は新規認定率が減少し、70歳～84歳の人が増加している。

(1) 平均年齢

平成30年度	82.1歳
平成31年度	80.8歳

(2) 年齢区分別構成比

	40～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳～
平成30年度	3.1%	6.0%	8.6%	15.3%	21.7%	28.2%	12.0%	4.7%	0.4%
平成31年度	3.7%	6.1%	12.4%	15.9%	23.1%	25.1%	11.8%	1.7%	0.3%

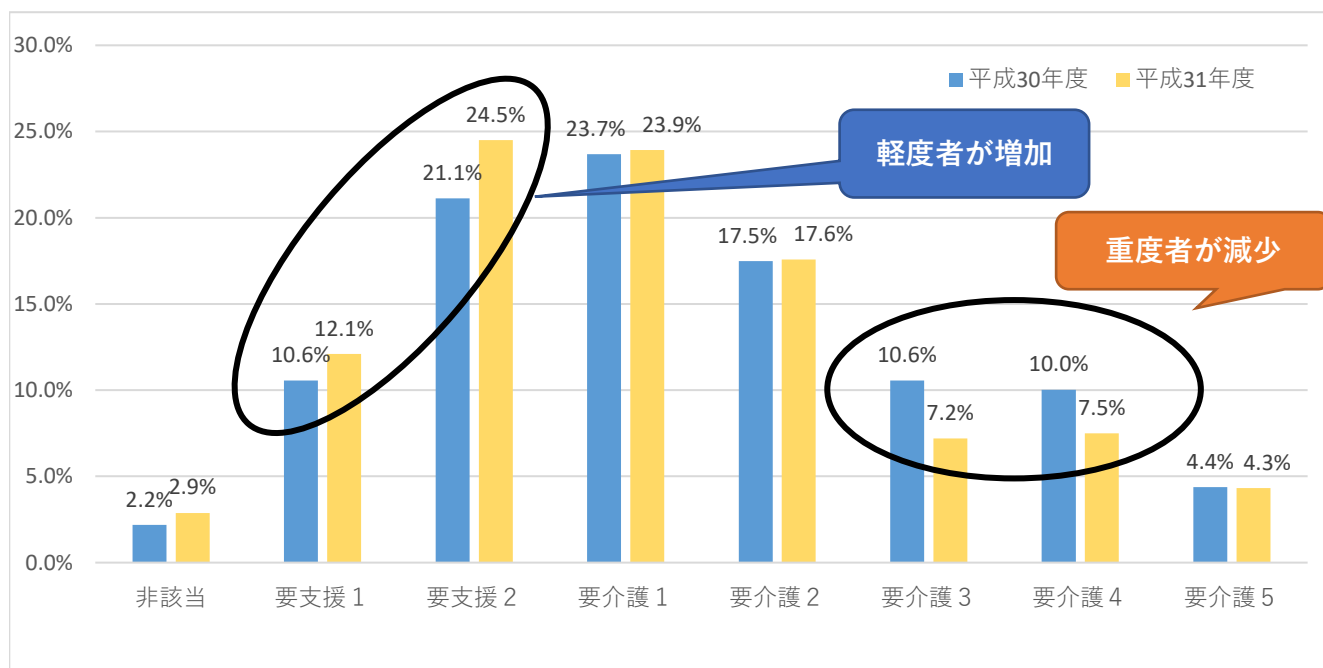


2. 心身状態からみた状況

状態別にみると軽度の人が多い。「1. 年齢からみた状況」と合わせてみると、比較的年齢が低い、軽度の状態での新規申請者が増加していることがわかる。これは、介護予防サービスに対する意識が向上し、軽度の状態から早めの介護サービスの利用を希望するようになってきたと考えられる。要介護認定申請後のサービス利用開始により、いかに状態の維持・改善が図れるかが今後の課題となる。

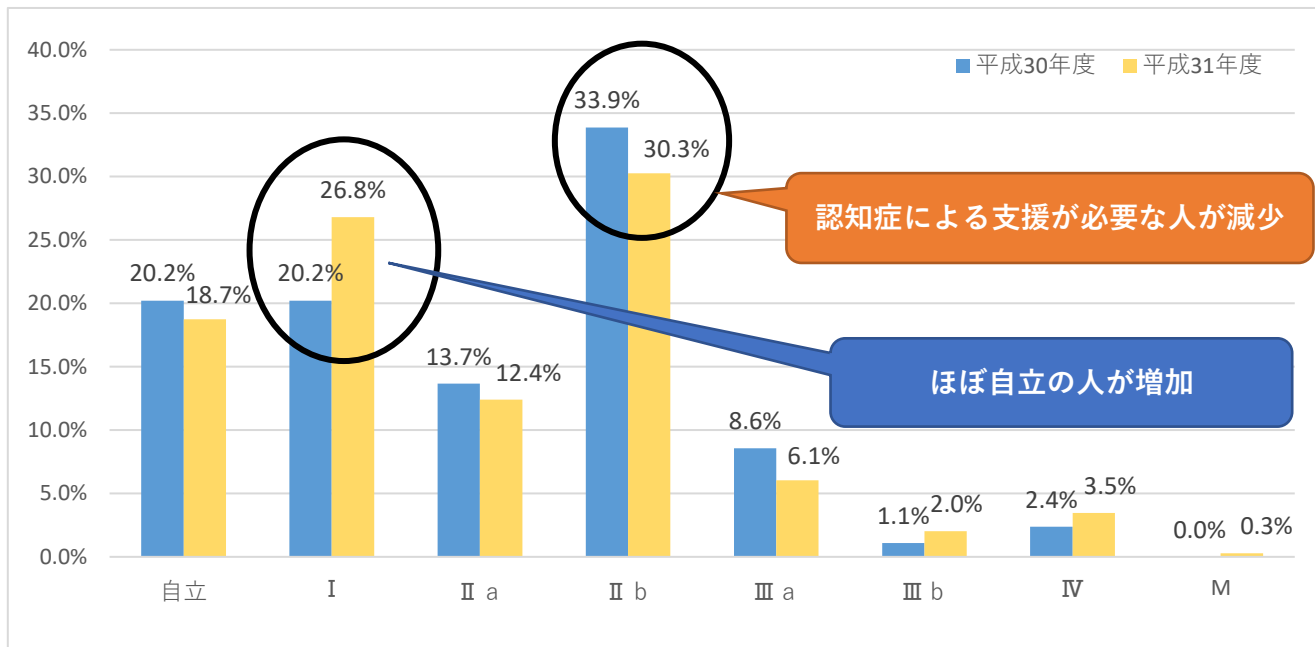
(1) 要介護度別構成比

	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
平成30年度	2.2%	10.6%	21.1%	23.7%	17.5%	10.6%	10.0%	4.4%
平成31年度	2.9%	12.1%	24.5%	23.9%	17.6%	7.2%	7.5%	4.3%



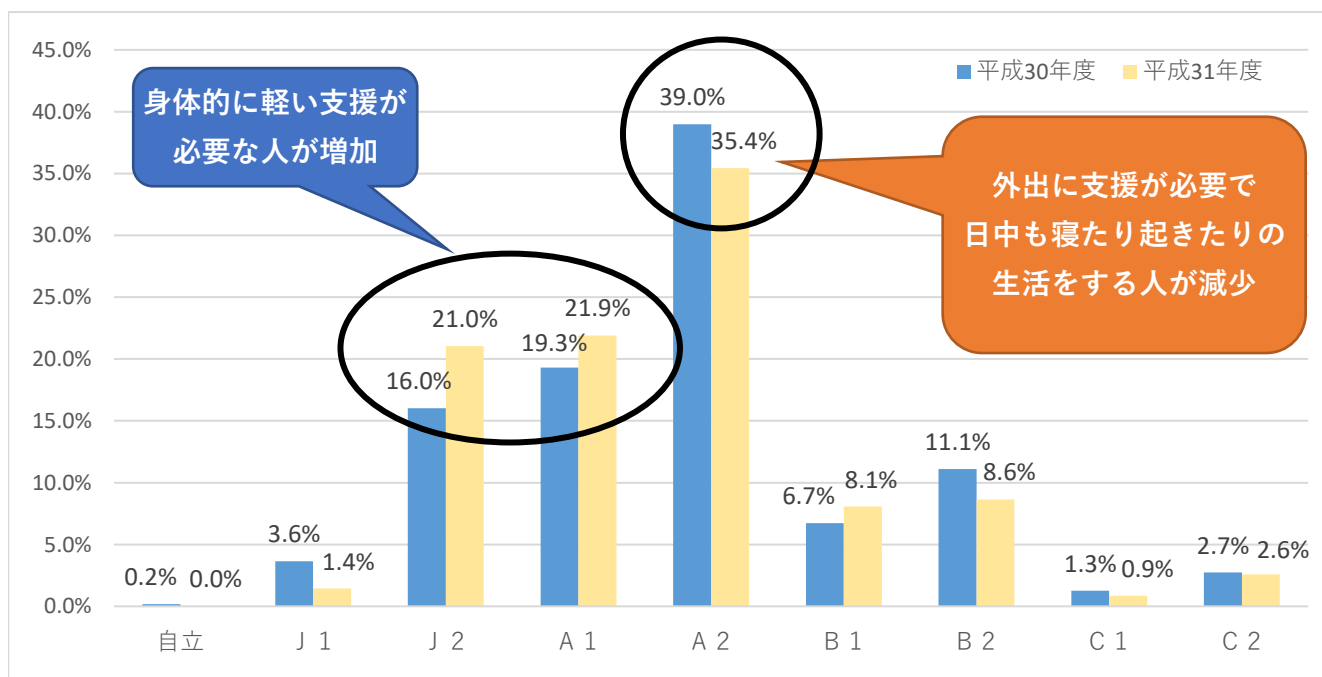
(2) 認知症自立度別構成比

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
平成30年度	20.2%	20.2%	13.7%	33.9%	8.6%	1.1%	2.4%	0.0%
平成31年度	18.7%	26.8%	12.4%	30.3%	6.1%	2.0%	3.5%	0.3%



(3) 障害自立度別構成比

	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
平成30年度	0.2%	3.6%	16.0%	19.3%	39.0%	6.7%	11.1%	1.3%	2.7%
平成31年度	0.0%	1.4%	21.0%	21.9%	35.4%	8.1%	8.6%	0.9%	2.6%

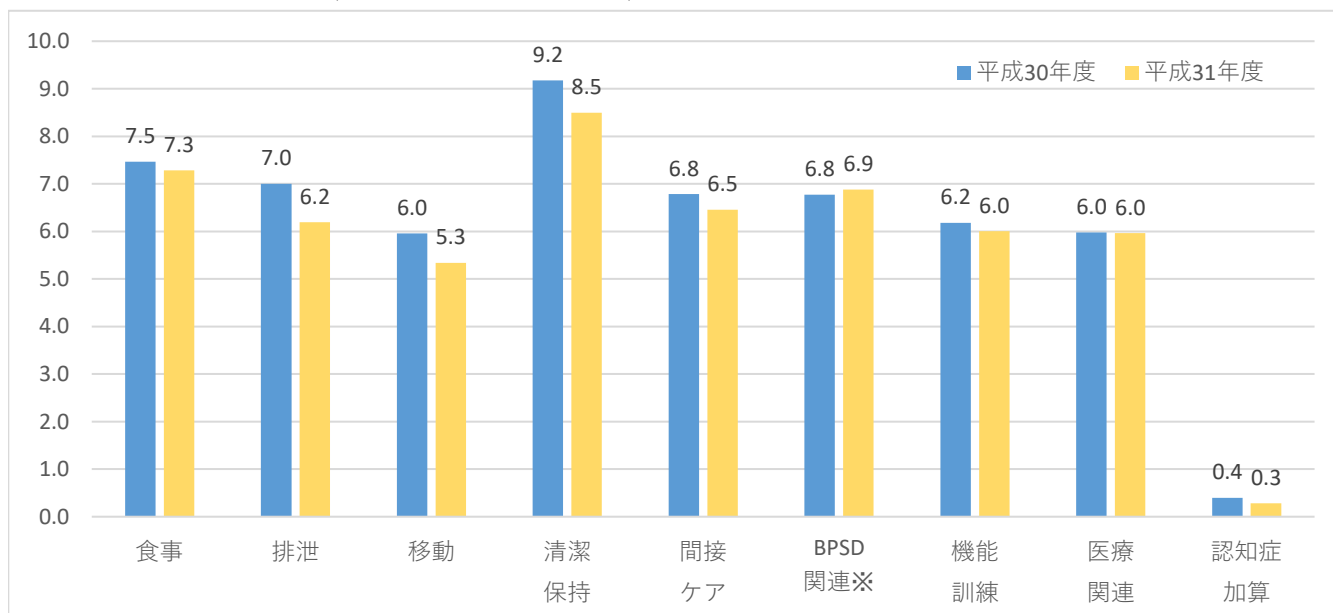


(4) 要介護認定等基準時間の平均値

(単位：分)

	食事	排泄	移動	清潔 保持	間接 ケア	BPSD 関連※	機能 訓練	医療 関連	認知症 加算
平成30年度	7.5	7.0	6.0	9.2	6.8	6.8	6.2	6.0	0.4
平成31年度	7.3	6.2	5.3	8.5	6.5	6.9	6.0	6.0	0.3

※認知症状による諸症状（被害妄想、感情の不安定等）



3. 申請時の居所（訪問調査場所）別構成比

平成30年度に比べて平成31年度の訪問調査場所は、医療機関（入院中の申請による）が多くなってきている。医療機関からの紹介で新規申請につながるケースが増加しており、医療と介護の連携が広がってきていることが考えられる。

	自宅	医療機関	その他の施設
平成30年度	56.3%	40.8%	2.9%
平成31年度	52.2%	46.1%	1.7%

